

山口県国際総合センターの指定管理者の選定に係る報告書

山口県国際総合センター指定管理者選定委員会

令和7年11月4日

山口県産業労働部長 永田明生 様

山口県国際総合センター指定管理者選定委員会

委員長 吉村耕一

山口県国際総合センターの指定管理者の選定について

山口県国際総合センターの指定管理者の選定に係る応募者の審査の結果について、山口県国際総合センター指定管理者選定委員会設置要綱第2条第4号の規定に基づき次のとおり報告します。

1 選定の経過

審査基準や配点を予め決定の上、応募者の「事業計画書」、その他の応募書類について、資格審査、書類審査及び応募者に対する面接審査を行い、最優秀者を選定した。

2 選定委員会の開催状況

第1回 令和7年9月3日
募集要項、業務仕様書の決定
審査基準及び審査項目の決定

第2回 令和7年10月24日
資格審査
書類審査及び面接審査
最優秀者の選定

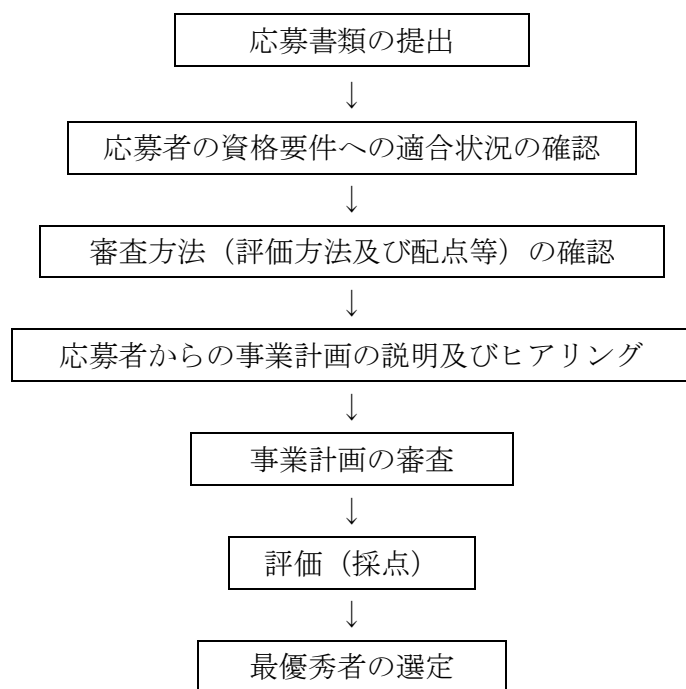
3 審査の方法

(1) 審査項目及び配点 (募集要項 第3 5 (2) ウ)

選定基準	審査項目	審査内容	配点
①事業計画書の内容が、センターを使用しようとする者の平等な使用を確保することができるものであること	管理運営の方針	- 団体の経営理念は利用の平等性の観点から適切か - 申請者が提案した運営方針は、センターの設置目的と合致しているか	5
	平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	- 事業等の内容に利用者の特定化などの偏りがないか - 利用者等からのクレーム対応の仕組みは適切か	5
②事業計画書の内容が、センターの効用を十分に発揮するとともに、センターの管理に係る経費の節減を図ることができるものであること	利用率の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	- 施設の設備、機能を十分に活用した提案となっているか - 施設の利用率を高める内容の提案は適切か - まちづくりの観点を踏まえた提案がされているか	1 5
	サービス向上を図るための具体的手法及び期待される効果	- サービス向上につながる取組内容は適切か - 利用料金の設定は適切か	1 5
	施設等の維持管理の内容、効率性及び実現の可能性	- 施設等の維持管理は適切か - 環境に配慮した管理運営となっているか	1 5
	施設の管理運営に係る経費の内容	管理運営経費の節減に取り組む提案となっているか	1 5
③応募者が、事業計画書に沿った管理を安定して行うために必要な人的体制及び経済的基礎を有するものであること	安定的な運営が可能となる財務基盤	経営状況（財務基盤）は安定しているか	5
	収支計画の内容、整合性及び実現の可能性	- 収入、支出の積算と管理計画の整合性は図られているか - 収支計画の実現可能性はあるか	5
	安定的な運営が可能となる人的体制	- 職員構成・職員数は適切か - 職員採用、確保の方策、研修体制は適切か - 適法な労働条件が確保されているか	1 0
	利用者の安心・安全の確保	- 個人情報保護が図られているか - 災害その他緊急時の危機管理体制が確立されているか - 利用者の安全確保体制が確立されているか	1 0
合 計			1 0 0

(2) 審査手順

応募書類及び応募者に対するヒアリングを基に、委員ごとに審査（評価）し、各委員の評価を集計した上で協議を行い、最優秀者を選定した。



4 審査結果

(1) 応募状況

次の者から指定管理者指定申請がなされた。

ア 一般財団法人山口県国際総合センター

(2) 資格審査結果

応募者の応募資格（所得税又は法人税、消費税及び県税を滞納していないこと。事務所又は事業所を県内に有しているか、又は設置する予定があること等）については、指定申請書に添付された、官公署の証明書類との照合により、適合していることを確認した。また、失格の条件の各項目にも該当しないことについても確認した。

(3) 書類審査及び面接審査結果

評価の結果を基に協議を行い、全会一致で一般財団法人山口県国際総合センターを最優秀者を選定した。

※評価の結果は、別表のとおり。

5 審査講評

一般財団法人山口県国際総合センターについては、施設の設置目的や現状の課題などをよく理解されており、現指定管理者としての実績や経験を生かした提案となっていることが評価できる。

また、まちづくりに関する取組について、様々な団体や学校、民間施設との連携実績があり、県や市が掲げる計画と連動した提案が多いことが評価できる。今後こうした関係機関と連携した取組などを通じて、地域に貢献することを期待する。

一方、コンベンション施設、海峡ゆめタワーの利用促進に向けた具体的な提案がされていることは評価できるが、コンベンション施設の稼働率の更なる向上を図るため、学会以外の誘致など、幅広く検討する必要があると思われる。

利用者の満足度調査は、県民ニーズを把握する上で重要な取組であるが、アンケートの実施手法には改善の余地があり、また、SNSを使った広報活動について、昨年度はあまり効果が見られなかったため、取組を強化する必要がある。

6 選定委員会の委員構成

	氏 名	役 職 等	摘 要
委員長	吉 村 耕 一	山口県立大学 副学長	まちづくりに関する有識者
委 員	児 玉 尚	一般社団法人山口県建築士会 専務理事兼事務局長	コンベンション施設等の管理 に関する有識者
委 員	中 野 正	一般社団法人山口県観光連盟 事務局長	コンベンション事業の企画・ 実施に関する有識者
委 員	祖 山 久 美	一般社団法人山口県中小企業 診断協会 中小企業診断士	財務専門家
委 員	荒 瀬 慎太郎	山口県経営者協会 理事兼事務局長	施設利用者

<別表>

1 評価の結果

審 査 項 目	満 点 (委員4名の合計)	一般財団法人 山口県国際総合センター
1 管理運営の方針	2 0	2 0
2 平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	2 0	1 8
3 利用率の増加を図るための具体的手法及び期待される効果	6 0	5 3
4 サービス向上を図るための具体的手法及び期待される効果	6 0	4 6
5 施設等の維持管理の内容、効率性及び実現の可能性	6 0	5 3
6 施設の管理運営に係る経費の内容	6 0	5 6 . 5
7 安定的な運営が可能となる財務基盤	2 0	1 8
8 収支計画の内容、整合性及び実現の可能性	2 0	1 6
9 安定的な運営が可能となる人的体制	4 0	3 3 . 2 5
10 利用者の安心・安全の確保	4 0	3 3 . 2 5
合 計	4 0 0	3 4 7

※1名欠席のため、4名で採点を行った。

2 各応募者からの提案指定管理料（指定期間の総額、消費税及び地方消費税を含む）

一般財団法人山口県国際総合センター	1, 2 0 9, 0 5 6 千円
-------------------	--------------------

※ 募集要項に定めた指定管理料の上限額 1, 2 0 9, 6 9 0 千円